

テーマ4 地域との協働による危機管理体制づくり

①民間と連携した情報提供(コンビニ等、地域コミュニティFM放送局)

～地域に密着した道路情報の迅速な提供～

【背景】 災害等緊急時において、幅広く迅速な情報提供のニーズがある

【ねらい】 地域住民、道路利用者へ防災情報を的確に提供

実施状況

「ラジオふらの」からの情報発信



「Airてっし」からの情報発信



「FMりべる」からの情報発信



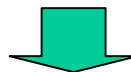
これまでの取組みと成果

- 地域コミュニティFM放送局「FMりべる(旭川)」
「ラジオふらの(富良野)」
「Airてっし(名寄)」
にて平成18年5月22日から防災情報・冬期道路状況の発信
- 道路情報提供に関する協定を締結(平成18年5月22日)
「(株)ラジオふらの」
「(株)旭川シティネットワーク」
「(株)エフエムなよろ」
- 実施時期: 平成18年5月22日
～平成19年3月31日

展開内容

- 継続した情報提供の一環として、旭川開発建設部で実施する様々なイベント等をコミュニティFMと連携し発信していく。
- FMりべる(83.7MHz)、ラジオふらの(77.1MHz)、Airてっし(78.8MHz)との協働で情報発信。

これにより...



- 地域住民および道路利用者へ幅広く道路情報を提供することで、災害時等における適切な対応を支援している。
- 地域住民および道路利用者へ迅速に道路情報を提供することにより、安全な通行を促進している。

テーマ4 地域との協働による危機管理体制づくり

②防災情報図・マップで防災知識を普及、リーフレットで情報取得を確実に ～関係機関と連携し防災情報図を作成し、情報連絡、情報共有を行う～

- ・【背景】道路防災を推進するため、地域の防災情報を提供し支援を図る
- ・【ねらい】地域の防災能力の向上(的確な災害情報の入手と防災対応)

実施状況

上川北部冬期異常気象WG



上川管内防災情報図



H18年度上川地方道路防災連絡協議会



展開内容

○情報伝達訓練

H18. 9. 5に訓練実施(57機関参加)

○上川北部冬期異常気象WG

H18.11.15にWG開催(8機関参加:美深町)

○上川管内除雪体制図

H18版へ更新し配布(継続利用)

○情報伝達訓練

道路災害情報が適切に伝達されるかを確認するため、トンネルに設置されている非常電話、非常ベルを実際に使用し行う。

○上川北部冬期異常気象WG

道内各地における冬期異常気象による災害を受けて、積雪の多い上川北部地域を対象に、豪雪時の除雪協力体制を検討した。

○防災情報図

上川管内防災情報図をH19年度版に更新し、道路管理者における情報共有を図った。(H19年8月28日関係機関に配布)

テーマ4 地域との協働による危機管理体制づくり

③地域が主役の危機管理・天塩川を軸とした活力ある地域の再構築

【背景】 天塩川流域では、上流域6市町村すべてハザードマップを公表済み。

天塩川は長大河川であり、水防活動において地域との協働が不可欠。

【ねらい】 日本列島を襲う異常気象やそれに伴う豪雨、地震等の災害に対して、被害を最小限に抑えるため、防災情報伝達の充実、防災意識の高揚を図る。

音威子府村

洪水ハザードマップ



天塩川一斉水防訓練



天塩川水防研修会（中川町）

平成18年9月14日

展開イメージ

○流域市町村、NPO法人天塩川リバーネット21等と協働して展開している。

○河川管理者、流域自治体、地域住民との災害情報の共有化が重要であるため、水防研修会を開催し、災害発生時の対応法や情報共有の強化を図りました。

平成19年8月28日に実施

○天塩川上流6市町村の洪水ハザードマップが完成したことを機に、防災対策として効果的にハザードマップが利用されるよう流域市町村で一斉に水防訓練を行い、流域の危機管理協働体制の充実を図りました。

平成19年9月7日に実施

これまでの経緯

- ・平成15年10月 天塩川上流6市町村ハザードマップ公表
- ・平成17年1月 水防連絡協議会名寄地方部会開催
- ・平成17年5月 水防法改正
- ・平成17年5月 天塩川一斉水防訓練の実施
- ・平成17年11月 天塩川水防研修会（名寄市）の実施
- ・平成18年7月 天塩川一斉水防訓練の実施
- ・平成18年9月 天塩川水防研修会（中川町）の実施

H13洪水

地域による内水排除作業



テーマ4 地域との協働による危機管理体制づくり

④地域防災教育支援

～地域防災啓発活動や教育素材の開発等により防災に対する意識向上を図る～

- ・【背景】 近年、台風や地震災害が多発している
- ・【ねらい】 いざという時に、自ら身を守る最低限の知識を身につけてもらう

実施状況

参加いただいた扇山小学校
5年生児童のみなさん(59名)



除雪機械への試乗



必須！防災知識



展開内容

これまでの取組みと成果

- ・毎年、道路防災週間に合わせて各事務所等のうち1箇所で、災害用機械見学会を開催している。
- ・旭川開発建設部では、上川地方道路防災連絡協議会（旭川開発建設部、旭川土木現業所、旭川市、旭川市消防本部）として、他機関と協働で地元小学生を対象とした「道路除雪・災害対策機械展示会」を平成18年8月28日に富良野道路事務所において実施した。

- 地域の防災啓発活動支援の一環として、防災関係機関及び自治体等と協働で地元小学生や一般の方々を対象に「災害対策機械等見学会」を平成19年8月31日に開催し、災害について理解を深めてもらうことができた。
- 土木学会が作成した「必須!!防災知識：DVD」を利用して、地域の人々が災害に対して安全に対応できるよう支援した。
- 「必須!!防災知識：DVD」を教育関係者・防災関係機関・NPO・一般家庭へ貸出し、地域住民の防災知識の普及を支援した。